

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おり〜ぶ上野山		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 24日		～ 令和7年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所は仙台市内で唯一、児童館に併設されているため、地域のお子さんたちをはじめ多くの方々との交流が自然ととれるところが強みであると思います。お互いを知り、相手を尊重する気持ちを互いの利用児が自然と持てること、人と関わる際のルール等互いに学びあい、社会性を育む機会が多くもてると思います。	ご利用のお子さんのニーズに応じ、日頃から交流を多く持っています。児童館の施設運営委員会にも参加しこちらの事業所のことをお伝えすることや、互いの行事にも参加する機会を設けることで、こちらのことも知ってもらえるようにしています。	今年度より、山田市民センター主催の山田かがやき隊（地域の異世代交流）に参画し、職員が「ポッチャ」のルールやプレイ方法、魅力について講師としてお話をする機会を設けました。実際に「山田かがやき杯」という大会も開催し、ご利用児のみならず地域にお住まいの様々な年代の方に参加いただきました。今後もこのような機会は積極的に参加したいと
2	様々な資格を持つ職員が在籍していることで専門的なサポートや多様な活動が提供できると思います。	週ごとのプログラムや毎週土曜日に行事等を立案しております。職員間で意見を出し合い、目的や方法を共有しながら実施しています。	同じ活動でもお子さんにより、目標とするところや配慮事項等が異なりますので、職員全体でそれらを共有する事により、よりお子さんが主体的に取り組めるよう丁寧なサポートをしていきたいと思っています。
3	様々な資格を持つ職員が在籍していることで専門的なサポートや多様な活動が提供できると思います。	週ごとのプログラムや毎週土曜日に行事等を立案しております。職員間で意見を出し合い、目的や方法を共有しながら実施しています。	同じ活動でもお子さんにより、目標とするところや配慮事項等が異なりますので、職員全体でそれらを共有する事により、よりお子さんが主体的に取り組めるよう丁寧なサポートをしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	シフトによる勤務となっており、正規職員とパート職員で構成しております。その分多くの人員を配置できる場所はメリットとしてありますが、その反面パート職員はお子さんのいる時間に必要人員を割いておりますので、情報の共有という部分で差ができてしまっております。	保護者ニーズに対応するため、延長も柔軟に受け入れております。お子さんに支援する時間が長くなることで、全員で共有確認できる時間は難しい現状です。どちらも必要で重要なことですので、バランスをとりながらよりスムーズに情報共有する方法や工夫を検討していきたいと思っています。	ミーティングノート等書面での申し送りや、必要に応じて個別のやりとり、年間計画にて会議や研修の実施等、計画的に取り組んでいきたいと思っています。
2	マニュアルや要綱等、事業所での整備はもちろんしておりますが、各ご家庭やパート職員への周知が十分でない部分がありました。	上記理由と同様にパート職員の情報共有の部分で不十分な点があったかと思っています。各ご家庭にも伝えきれていませんでした。	各ご家庭へ周知することでより安心してご利用いただけるよう配慮したいと思っています。また、パート職員に対しても書面での周知も含め、機会をみて読み合わせや訓練の報告等をより丁寧に行いたいと思っています。
3	専属スペースの関係もあり、活動内容や利用児、ご利用人数によっては個別活動が難しくなる場合があります。	ご利用希望が多くありがたいことではありますが、活動内容やお子さんの状況によっては個別の対応が難しい場面がありました。児童館のご利用児も増加しており、環境面での課題はあるかと思っています。	空間の活用方法を工夫するとともに、事務室や空きスペースを利用しながら個別の話や活動がしやすい環境作りも職員間でアイデアを出し合いながら検討していきたいと思っています。